

## 宮城県気仙沼市「気仙沼メカジキブランド化推進委員会」に支援金を助成

第2ステージ



宮城県気仙沼市「気仙沼メカジキブランド化推進委員会」が取り組む、「気仙沼メカジキの高付加価値化による『食のまち 気仙沼』プロジェクト」の応援のため、公益財団法人 日本財団の協力のもと、支援金を助成しました。

2016年4月7日

水産業

キリンビールマーケティング株式会社（社長 布施孝之）は、宮城県気仙沼市「気仙沼メカジキブランド化推進委員会」（委員長 菅原昭彦）が取り組む「気仙沼メカジキの高付加価値化による『食のまち 気仙沼』プロジェクト」への支援金として、総額 2,500 万円を公益財団法人 日本財団（会長 笹川陽平）の協力のもと 4 月 7 日（木）に助成しました。

震災から 5 年が過ぎ、復旧・復興の兆しが見えてくる中、水産業も回復してきていますが、震災前の状態には未だ戻っていません。基幹産業である水産業の活性化は気仙沼にとって、非常に重要なテーマとなっています。今回、気仙沼の主要魚種の一つであるメカジキに着目し、メカジキを含めた食による街づくりやブランド作りに成功しているヨーロッパの先進地を視察し、気仙沼でのメカジキのブランド化に繋げることに挑戦します。三陸沖の豊饒な漁場をもった日本有数の漁港である気仙沼では、オンリーワンの魚種でもあるメカジキの知名度向上・ブランド化を目指して、推進メンバーとして気仙沼市も加わり「気仙沼メカジキブランド化推進委員会」が 2015 年 9 月に結成されました。商工会議所・飲食事業者・水産加工業者・生産団体・流通事業者・行政などさまざまな関係者が参加し、地域全体として『気仙沼のメカジキ』のブランド化を推進して行きます。メカジキの街「気仙沼」という新たな価値を創造することで、観光客の誘致にも繋げていき、将来的には「食の街 気仙沼」を目指し、観光客のみならず料理人が気仙沼に学びに来るような街としていきたいと考えます。

今回の助成は、「気仙沼メカジキブランド化推進委員会」が、商工会議所・飲食事業者・水産加工業者・生産団体・流通事業者・行政などと協働で行う「気仙沼メカジキの高付加価値化による『食のまち 気仙沼』プロジェクト」に対するもので、ブランド育成、商品開発、情報発信などに活用されます。



復興応援  
 キリン  
 絆プロジェクト

笑顔で結ぶ。人を、日本を。